

⑫ 公開特許公報 (A)

平1-249097

⑤ Int. Cl. 4

D 06 F 58/02
25/00

識別記号

府内整理番号

④公開 平成1年(1989)10月4日

Q-6681-4L
Z-7211-4L

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑤発明の名称 洗濯機

②特 願 昭63-75112

②出 願 昭63(1988)3月29日

⑦発明者 川合 常雄 愛知県名古屋市西区葭原町4丁目21番地 株式会社東芝名
古屋工場内

⑧出願人 株式会社東芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

⑨代理人 弁理士 佐藤 強

明細書

1 発明の名称 洗濯機

2 特許請求の範囲

1. 洗濯槽を備えその上方に開口部を有する洗濯機本体と、前記開口部を覆うように設けられ出入れ口を有する蓋体と、前記洗濯槽内に熱風を供給する熱風供給装置と、前記蓋体の出入れ口にこれを開閉すべく取付された開閉装置と、前記蓋体の下面部にその出入れ口と対応するように設けられたハンガーとを具備してなる洗濯機。

2. ハンガーは蓋体に吊持されていてその蓋体に格納されるように折畳み可能に構成されていることを特徴とする請求項1記載の洗濯機。

3 発明の詳細な説明

【発明の目的】

(産業上の利用分野)

本発明は、洗濯物を乾燥させる機能も有する洗濯機に関する。

(従来の技術)

洗濯機によって洗濯した洗濯物は天日で干し

て乾燥させるのが一般的である。然しながら、雨天の日には洗濯物を干すことができないという事情があり、また、洗濯物のなかには、下着などのように他人に見られたくないものもある。そこで、従来より、屋内で洗濯物を乾燥させるべく乾燥機が供されている。

(発明が解決しようとする課題)

然しながら、乾燥機は洗濯機とは別個の製品であり、これを欲する使用者は、据付用の場所を準備する必要があるばかりでなく、経済的負担も非常に大きいという問題点がある。

そこで本発明の目的は、洗濯物を乾燥させる機能を有して、場所をとらず、経済的負担も少なくなし得る洗濯機を提供するにある。

【発明の構成】

(課題を解決するための手段)

本発明の洗濯機は、洗濯機本体に洗濯槽の上方開口部を覆うように出入れ口を有する蓋体を設け、前記洗濯槽内に熱風を供給する熱風供給装置を設け、前記蓋体の出入れ口にこれを開閉すべく

開閉蓋を枢設し、前記蓋体の下面部にその出入れ口と対応するようにハンガーを設けた構成に特徴を有する。

また、ハンガーを蓋体に吊持しその蓋体に格納されるように折畳み可能に構成することが好ましい。

(作用)

本発明の洗濯機によれば、蓋体の開閉蓋を開放すると、出入れ口に対応してその下方にハンガーが存するので、洗濯物をハンガーに容易に掛けることができる。そこで、蓋体の開閉蓋を閉鎖し、熱風供給装置から洗濯槽内に熱風を供給すると、洗濯物が乾燥される。

洗濯物を洗濯すべく蓋体を洗濯槽の上方開口部から取外した時には、ハンガーを折畳んで蓋体に格納することができ、蓋体を保管すべく洗濯機本体の側面部に沿わせて開口部縁部に掛けるのに好都合である。

(実施例)

以下、本発明を二槽式洗濯機に適用した一実

施例につき図面を参照して説明する。

1は洗濯機本体で、これは、外箱2の下面部に台板3を取付け、内部に洗濯槽4及び脱水槽(図示せず)を併設し、外箱2の上面後部にパネル部5を設けて構成されている。6は前記脱水槽の上面部を覆うように設けられた脱水槽用蓋体で、これは後部を支点として開閉される。7は洗濯槽4上方の開口部4aにこれを覆うように載置された洗濯槽用蓋体であり、その中央部に出入れ口8が形成されている。9は透明プラスチックなどにより形成された透視可能な開閉蓋であり、その後端部9aが蓋体7に回動可能に枢設されて、出入れ口8を開閉し得るようになっている。10は台板3に取付けられた洗濯用モータで、このモータ軸10aにモータブーリ11が取付けられている。12は洗濯槽4の外底部に取付けられた伝動部で、これの上部の軸部12aが洗濯槽4内に突出されている。13は洗濯槽4内の底部に配置された攪拌翼であり、その底部中央部が伝動部12の軸部12aにねじ14により取付けられている。この

aを有する熱風吹出し口21に形成されている。そして、送風管20の垂直管部20bの上端部の高さは洗濯槽4の満水水面よりも高い位置となるように設定されている。22は滴り部であり、これは送風管20のうち垂直管部20bの下方に位置するように水平管部20aの端部に形成され、この下面部に排水口23が形成されている。この排水口23は送風管20のうちの最低位置にあって熱風供給ユニット18よりも低い部位に設定されている。24は洗濯槽4の前面部と蓋体9の前端部との間に形成された熱風排出口である。25は出入れ口8に対応するハンガーで、これは、4本の吊持部25aの上端部が蓋体7の裏面の前、後及び左、右の4箇所に回動可能に取付けられ、この前、後の吊持部25a、25aの下端部間に連結部25bが回動可能に連結され、そして、その左、右の連結部25b、25bの間に4本の吊下げ部25cが回動可能に連結されて構成されている。尚、図示はしないが、パネル部5にはモータ18a、PTCヒーター19及び洗濯用モータ1

0の通断制御を行なう乾燥用タイマーが組込まれている。

次に上記構成の作用について説明する。

洗濯及び脱水が終った洗濯物を乾燥させる場合は、先ず、蓋体7の開閉蓋9を第1図に二点鎖線で示すように回動させて、出入れ口8を開放する。すると、ハンガー25の4本の吊下げ部25cが出入れ口8から目視し得る。そこで、これら4本の吊下げ部25cに出入れ口8を通して洗濯物Wを掛け、開閉蓋9を前述と逆方向に回動させて、出入れ口8を閉鎖する。つぎに、図示しない乾燥用タイマーを所望の時間にセットすると、先ず、熱風供給ユニット18のモータ18a及びPTCヒータ19が通電される。これにより、モータ18aによりファン18bが回転され、ケーシング18dに吸入された風は、吐出口18cから送風管20の水平管部20a内に送出され、PTCヒータ19を通過する間に加熱されて熱風化する。この熱風は垂直管部20bを通って送出管部20cを経て熱風吹出し口21から洗濯槽4内に吹出

ところで、洗濯中、排水不良等により洗濯槽4内が満水になることがあるが、上記実施例においては、送風管20の垂直管部20bの上端部の高さが洗濯槽4の満水水位面よりも高い位置に設定されているので、洗濯槽4の水が送風管20内に溢水することがない。

また、洗濯中或いは洗濯槽4の掃除中に水はねが生じると、その水があやまって熱風吹出し口21から送風管20内に浸入することがあるが、この水は、垂直管部20bを流下して漏り部22に漏り、最低高さ位置にある排水口23を通って機外に排出されるので、この浸入した水が熱風供給ユニット18側に流入することはない。

[発明の効果]

本発明は、以上の説明から明らかなように、次の効果を奏するものである。

請求項1に記載の洗濯機によれば、洗濯槽の上方の開口部を覆うように出入れ口を有する蓋体を設け、洗濯槽内に熱風を供給する熱風供給装置を設け、前記蓋体の出入れ口にこれを閉閉すべく開

される。一方、洗濯用モータ10は乾燥用タイマーにより1~2分に1回、約10秒間通電されるようになっており、これにより、モータブーリー11、ベルト16、ブーリー15及び伝動部12を介して攪拌翼13が間欠的に回転される。この場合、攪拌翼13は上面が開放する円形容器状をなしで内部に突条部13aを有しているので、洗濯槽4内に吹出されて吊下げ部25cに掛けられた洗濯物Wを乾燥させた湿気を含んだ熱風は、攪拌翼13によって攪拌されて熱風排出口24から外部に排出される。

洗濯物を洗濯をする場合には、蓋体7を洗濯槽4の開口部4aから取外し、ハンガー25の吊持部25a、25aを第1図に矢印Aで示す方向に回動させると、4本の吊下げ部25cが蓋体7の裏面に接するよう格納される。そこで、蓋体7の手掛け部(図示せず)を開口部4aの縁部に引掛ければ、従来の洗濯機同様に蓋体7を洗濯機本体1の側面部に沿わせて保管することができるの、ハンガー25が洗濯時の支障にならない。

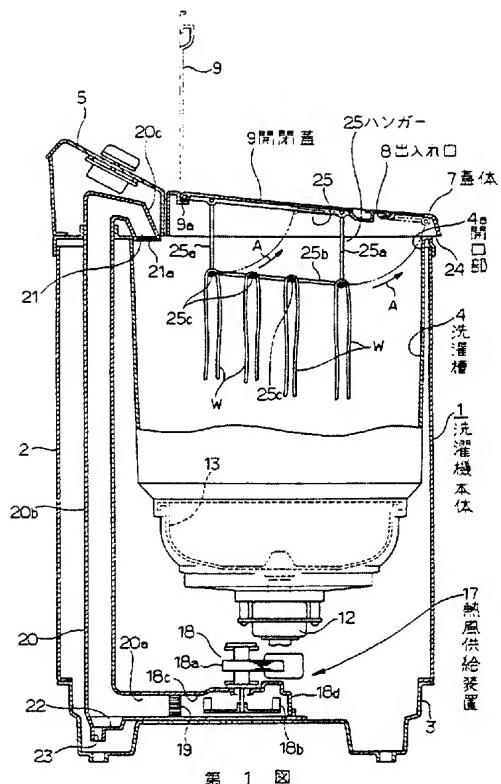
閉蓋を枢設し、前記蓋体の下面部にその出入れ口と対応するようにハンガーを設けたので、洗濯槽内で洗濯物を乾燥させて、別途乾燥機を購入する必要がなく、場所をとらず、経済的負担も少なくなし得て、雨天の日にも洗濯物を乾燥させ得るという効果を奏する。

また、請求項2に記載の洗濯機によれば、ハンガーは蓋体に吊持されていてその蓋体に格納されるように折畳み可能に構成されるので、蓋体を洗濯機本体の側面に沿うように保持でき、ハンガーが洗濯時に何等支障を生じないという効果を奏する。

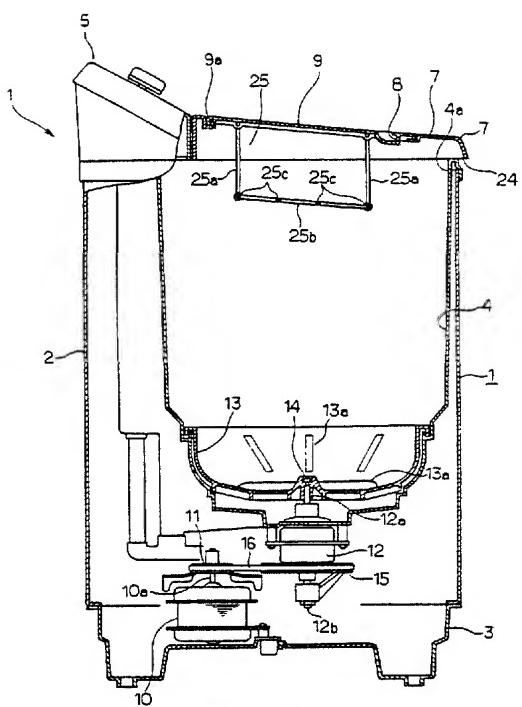
4 図面の簡単な説明

図面は本発明の一実施例を示すもので、第1図は熱風供給装置部分の縦断側面図、第2図は攪拌翼部分の縦断側面図、第3図は上半部の外観斜視図を示す。

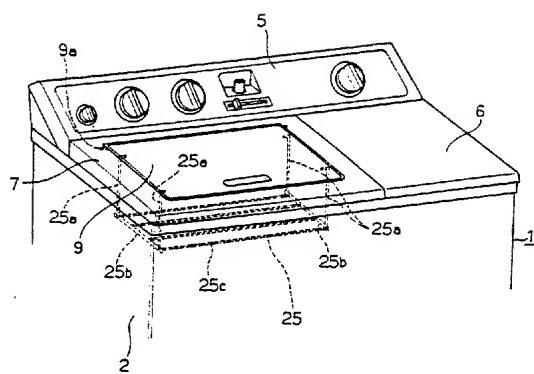
図中、1は洗濯機本体、4は洗濯槽、4aは開口部、7は蓋体、8は出入れ口、9は開閉蓋、17は熱風供給装置、25はハンガーを示す。



猶 1 積



第 2 図



第 3 図

PAT-NO: JP401249097A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01249097 A
TITLE: WASHING MACHINE
PUBN-DATE: October 4, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KAWAI, TSUNEO	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TOSHIBA CORP	N/A

APPL-NO: JP63075112
APPL-DATE: March 29, 1988

INT-CL (IPC): D06F058/02 , D06F025/00

US-CL-CURRENT: 68/20

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable drying of laundry in a washing drum, by a method wherein a cover body having a taking-in-and-out port to which an openable cover is pivotally situated is placed above a washing drum, a hot air feed device is mounted in the washing drum, and a foldable hanger is situated to the under surface part of the cover body in a manner to be positioned facing the taking-in- and-out port.

CONSTITUTION: When, during dry of laundry, an openable cover 9 of a cover body 7 is opened, a suspension part 25c of a hanger 25 can be visibly watched through a taking-in-and-out port 8.

Laundry W is hanged thereto to close the taking-in-and-out port 8. With a timer for dry set, a fan 18b is run, air sucked in a casing 18d is heated by a heater 19, and is discharged through a hot air discharge port 21 to a washing drum 4. A motor for washing intermittently rotates an agitating vane 13 by means of the timer for dry, and hot air, drying the laundry W and containing moisture, is discharged through a hot air discharge port 24. In the case of washing, the cover body 7 is removed from an opening part 4a of the washing drum 4, a suspension part 25a of the hanger 25 is rotated and is contained in a state to make contact with the back of the cover body 7.

COPYRIGHT: (C)1989, JPO&Japio